

校長室もあったかす

第2号

令和7年4月22日(火)

北海道鷹栖養護学校 校長室より

着々と安心できる学びの場に

新年度がスタートして、早くも3週間。

慣れない環境に表情がかたかった子どもたちも、毎朝先生の顔を見てにこやかになる姿が多くなってきました。

安心な学びの場になるために、鷹栖養護学校の先生たちが心掛けてくれていることがいくつかあります。



① 毎日変わらない笑顔での出迎え

いつもの教室でいつもの先生が笑顔で出迎えることは、「今日も大丈夫」という気持ちになります。

② 予定が分かること

「今日の予定は〇〇」と分かるように示される工夫がされています。初めてのことや苦手なことは不安ですが、見通しがもてることは安心につながります。

③ 次の活動が分かること

今やっていることの次の活動が分かると、自主的な行動につながります。自分で判断して行動できることが増えると“自信”になり、「もっとやりたい」という意欲につながります。



鷹栖町郷土資料館に行ってみました

鷹栖町のことを学びたいと思い、休日に鷹栖町郷土資料館に行ってみました。中には鷹栖町が現在の米どころになるまでの歴史的な資料、そこにはなくてはならない存在だった農耕馬の資料、本州から開拓で渡った方々の生活のことが分かる資料が多数展示されていました。



鷹栖町が今の町になるまでのこと、もっと勉強したいと思った資料館でした。行ったことのない方には是非おすすめです(^.^)



地域の方との出会いがいっぱい

鷹栖町で学ぶ子どもたちは、学習場面で鷹栖町の方との出会いがたくさんあります。4月前半だけでも、入学式での町長さんや教育長さん、農作業でお世話になる農家さん、交通安全教室での駐在所のおまわりさんや交通指導員やこぐまクラブのみなさん等々、みなさん愛情深く子どもたちと関わってくださることに感謝です♥

